

耕そう、大地と地域の未来

令和2年度上半期（ディスプレイジャー誌）



JAわかやまのご紹介

JAわかやまは、和歌山県の北西部に位置する県都和歌山市を管内としています。

和歌山市は関西国際空港をはじめ阪和自動車道などの交通アクセスもよく、都市近郊型農業として恵まれた条件にあります。気候は瀬戸内気候区に属し、過去5年間の平均年間降雨量は1592.6mm、平均気温は17.28℃と比較的雨が少なく温暖であり、気象条件にも恵まれています。

JAわかやま管内の農業は、紀の川中洲砂地地帯及び南部では新ショウガのハウス栽培・露地栽培、ダイコン、ニンジンの露地栽培が営まれており、紀の川流域では水稻・水田裏作野菜としてキャベツ・ハ

クサイ・ブロッコリーなどの複合栽培が営まれています。また東南部の中山間地帯では果樹栽培が営まれており、都市近郊農業特有の多彩な作物が栽培されています。

六次産業の取り組みとして、和歌山市産の新ショウガを使用した「生姜丸しぼりわかやまジンジャーエール」や「生姜佃煮」を開発・販売しています。

地元で栽培された新鮮で安全・安心な野菜・果実を販売するための直売所として、「愛菜てまりっこ」の名称で、市内5店舗を運営しています。米においては、特別栽培農産物の認証を受けた「こだわり米」を店頭精米にて、消費者に提供しています。

1. 経営理念

食と農を通じて輝く未来を志向し

組合員・地域とともに歩むJAわかやま

(基本姿勢)

1. JAわかやまは、協同組合原則・JA綱領・定款等にもとづき誠実に行動します。
2. JAわかやまは、公正で透明性の高い事業活動を行います。
3. JAわかやまは、高い倫理意識をもち社会的良識を守って行動します。
4. JAわかやまは、環境問題に積極的に取り組みます。
5. JAわかやまは、地域・社会に貢献する活動を行います。

2. 経営方針

令和2年度は、「第7次中期事業計画」の2年目として、総合事業の展開により「魅力ある力強い農業」と「豊かな地域」の実現に向け、更に取り組みを加速させます。

営農面では、営農指導の機能強化により、基幹品目の維持拡大及び生産性・収益性の高い品目を拡大し、JAわかやまブランドの確立を図るとともに、生産資材のトータルコストの抑制に努めます。また、生産基盤の維持・強化を図るため、行政やJAグループ和歌山農業振興センターと連携し、階層別の担い手対策を実施するなど地域農業の活性化に取り組み、農業所得の向上と地域農業の振興を目指します。

運営面では、事業活動を通じ、メンバーシップを深めると同時に、全組合員アンケート結果に基づく課題への対応に努め、組合員組織の活性化と組織基盤の強化を目指します。

内部管理機能につきましては、組合員・利用者の皆様に安心してご利用いただけますよう、内部統制と監査機能の充実・強化を図ります。また、近年多発する大規模自然災害など想定外のリスクに対応するため、事業継続計画(BCP)の態勢強化に取り組み

ます。

加えて、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」については、これまでJAわかやまが取り組んできた多くの活動と関連しており、今後も協同の力を発揮し、あらゆる人がずっと豊かに暮らせる社会の実現に向け、組合員・地域の皆様とともにSDGs達成に貢献してまいります。

事業面におきましては、組合員ニーズへの対応と多くの信頼を得られるよう、支店・営農センターのさらなる機能強化を図るとともに各種相談体制の充実に努め、組合員・利用者・地域の皆様にとって、欠かすことのできないJAを目指します。

以上のことを基本方針として掲げ、事業間連携による総合力を最大限発揮し、事業体制の強化を図ります。

(重点実施事項)

基本方針に基づき、以下の重点実施事項を設定して取り組みます。

1. 自己改革の取り組み強化による農業所得の増大

2. 営農支援による農業生産基盤の維持・強化
3. 組合員メンバーシップ強化と「地域の活性化」への貢献

4. 総合事業の展開による経営基盤の確立
5. 内部統制機能並びに監査機能の高度化

3. 経営管理体制

◇経営執行体制

当JAは組合員により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。

また、総代会で選任された監事が理事会の決定や

理事の業務執行全般の監査を行っています。

ガバナンスの強化を図るため、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置しています。

4. JAわかやまの事業案内

《営農指導事業》

農業生産の増大及び農家所得の向上を図るため、基幹品目の栽培拡大や生産性・収益性の高い品目の推進に取り組んでいます。また、優良農地を維持・確保するため農地流動化に取り組んでいます。

《生活指導事業》

安心で豊かな地域づくりや食と農の普及を目指して、女性会会員を中心とした、サークル活動、地産地消のPR活動、男性サークル「やろう会」による男の料理教室や農産物収穫体験などの活動に取り組んでいます。

また、地場産農産物を使用した「金山寺味噌」・「生姜佃煮」等の農産加工品の生産・販売に取り組んでいます。

《販売事業》

地域の特性を生かした産地作りと、実需ニーズを的確に捉えた多様な販売方式を構築するとともに、共販率の向上、安心・安全ブランドの確立を進めています。

直売所(愛菜てまりっこ)では、農業者と消費者とのパイプ役として、地元の農業者が丹精込めて育てた四季折々の野菜や果物、花を販売しています。また、生産者にJA独自の栽培提案を行い、こだわり野菜として販売強化に取り組んでいます。

《購買事業》

農業生産資材については、1円でも安くより良い資材を提供するため、価格交渉力・事業競争力の強化に努めており、“出向く体制づくり”による農業者との信頼関係の強化や予約購買活動や物流の合理化・品目集約等によるコスト低減を図っています。

生活資材においては、組合員ニーズに対応した商品やサービスの提供と環境・健康対応型商品の普及を図り、組合員の安全で快適な暮らしを支援しています。

《信用事業》

地域農業の未来を担う農業メインバンクとして、経済部門及び系統機関との連携を強化、担い手農業者を応援するとともに、皆様から愛され必要とされる地域メインバンクの実現に向け、相続・年金等各種相談会の実施や訪問活動の強化を図り地域に密着した信用事業を展開しています。

《共済事業》

組合員・地域の皆様へ「安心」と「満足」を提供することがJA共済の使命であり、生命共済をはじめ建物更生共済、自動車共済など、「ひと・いえ・くるま」の総合保障をお届けしています。

《運営・管理》

透明性の高い信頼される経営を目指し、財務の健全化・JA運営の効率化・地域を担う人づくりを進めています。

組合員のニーズに応えられる人材を育てるため、職員の意識改革・専門教育を実施しています。

トップマネジメントとして、組合長・専務態勢に常務理事(総務担当・金融共済担当・経済担当)を置き業務執行態勢の充実を図っています。また、健全な経営の確立を目指し、自己資本比率の向上にも取り組んでいます。

組合員・地域の皆様と共生を図るため、広報活動の充実にも取り組んでいます。

《監査》

業務部門から独立した内部監査部門を設置し、業務の適切性やリスク管理の状況について検証し、必要に応じフォローアップ監査を行っています。さらに、員外監事・常勤監事を置き、監査体制の充実を図り公認会計士監査や内部監査部門との連携をとって監事監査を実施。内部管理態勢の充実やリスク管理を徹底し、経営・財務の健全性を支えています。

5. 社会的責任と地域貢献情報

○全般に関する事項

当JAは、和歌山市を事業区域とした、農業者はもとより地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する金融機関です。

また、地域の一員として、農業の発展と健康で豊

かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

組合員数・出資金(令和2年9月現在)

(単位：人・団体、千円)

区 分	組合員数	出 資 金
正組合員	8,019	1,767,448
准組合員	23,652	3,001,650
合計	31,671	4,769,098

(1) 地域からの資金調達の状況(令和2年9月現在)

①貯金残高……356,552百万円

②貯金商品の概要

- ・年金定期貯金(すこやか)
- ・介護支援定期貯金(JAあんしん)
- ・年金予約定期貯金(パワーアップ60)
- ・年金予約定期積金(チャンス定積)
- ・子育て応援定期貯金(すくすく)
- ・子育て応援定期積金(わんぱく)

(2) 地域への資金供給状況(令和2年9月現在)

①貸出金残高……64,575百万円

(組合員) 59,259百万円

(地方公共団体) 1,780百万円

(その他) 3,535百万円

②制度融資取扱状況

当JAで現在ご利用いただいている制度融資は、農業近代化資金等1百万円と和歌山県生活営農資金25百万円です。

③融資商品の概要

- ・農業振興資金
- ・営農ローン
- ・JA新規就農応援資金
- ・JA農家応援ローン
- ・住宅ローン
- ・カーローン

(3) 文化的・社会的貢献に関する事項

①文化的・社会的貢献に関する事項

(令和2年度上半期)

- ・児童福祉施設等へマスクを寄贈(女性会手作りマスク300枚、サージカルマスク2,000枚)
- ・こだわり米をコロナ禍の影響により、経済面で不安を抱えている和歌山大学学生に寄贈(にこまる5kg×316袋)

・学校給食への安全・安心で新鮮な地元農産物供給(小学校52校、中学校1校、幼稚園3園、支援学校2校)

・美しい街づくりのため、和歌山市へ花苗の提供(1,440ポット)

・農業講座「学童農園」の実施(水稻4校・野菜54校)

・無料相談会(年金・相続、法律)の開催(各3回実施、合計18件相談)

・定期的な健康診断の実施(118人受診)

・女性大学開講(5回実施、延べ77人参加)

・男性組織サークルの活動(9回実施、延べ82人参加)

・男性料理教室の開催(2回実施、延べ62人参加)

・野菜収穫体験へ養護学校生を招待(2回実施)

・JAバンク食農教育応援事業による小学校への補助教材本の配布

・交通安全啓発のため東部支店前にLED表示機設置

・和歌山市へ感染症患者搬送用車両及び点字プリンター寄贈

・和歌山盲ろう者友の会へ音声点字端末機寄贈

・和歌山市との協定に基づく、高齢者等の見守り活動

②利用者ネットワーク化への取り組み

・女性会(あさも・フレッシュミズはるか)活動

・年金友の会(おもと会)活動

・共済友の会(よろこび会)活動

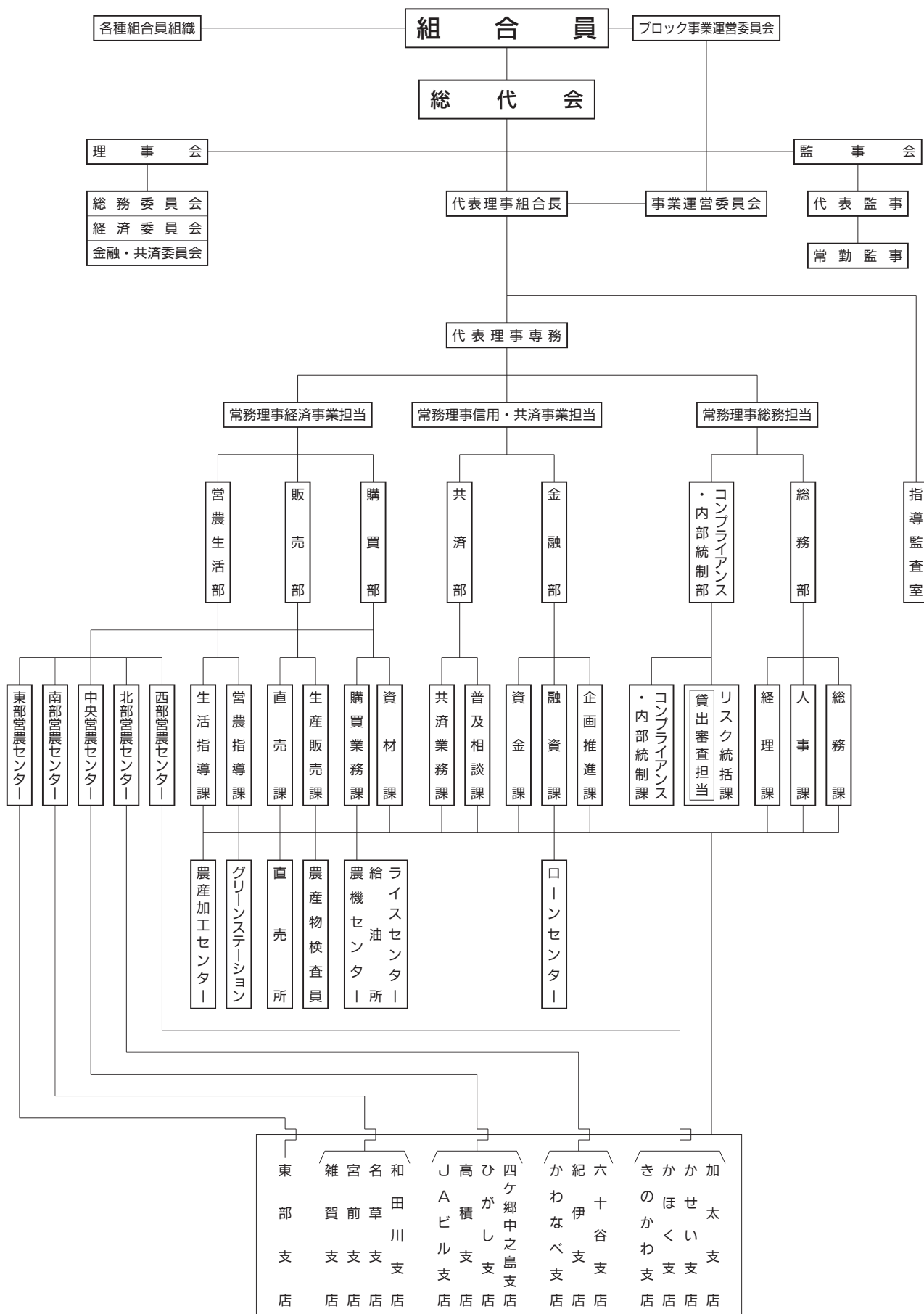
③情報提供活動

・JAわかやま広報誌の発行

・インターネットを通じた組合員等利用者への情報提供

6. 組合の機構

令和2年10月12日現在



店舗案内

(令和2年10月12日現在)

名 称	住 所	電話番号	ATM設置状況
——《金融共済店舗》——			
本店	和歌山市栗栖642	073-471-3731	
加太支店	和歌山市加太1040-1	073-459-1111	1台
かせい支店	和歌山市榎原223-26	073-455-0044	1台
かほく支店	和歌山市狐島302-1	073-455-3222	1台
きのかわ支店	和歌山市平井108-1	073-455-3221	2台
六十谷支店	和歌山市六十谷21-7	073-461-0011	1台
紀伊支店	和歌山市弘西98-1	073-461-0458	1台
かわなべ支店	和歌山市里84-6	073-461-2131	1台
四ヶ郷中之島支店	和歌山市有本19-1	073-471-2719	1台
ひがし支店	和歌山市栗栖660-1	073-471-0848	1台
高積支店	和歌山市和佐関戸54-1	073-477-0003	2台
JAビル支店	和歌山市美園町5丁目1-1	073-426-0006	1台
和田川支店	和歌山市田尻476-1	073-471-1385	1台
名草支店	和歌山市布引520-1	073-444-1105	1台
宮前支店	和歌山市中島547-12	073-476-5511	2台
雑賀支店	和歌山市西浜2-1-30	073-444-0377	1台
東部支店	和歌山市森小手穂130-1	073-471-1331	2台
——《経済店舗》——			
西部営農センター	和歌山市狐島303-1	073-480-3450	
北部営農センター	和歌山市弘西96-3	073-464-4560	
中央営農センター	和歌山市栗栖660-1	073-471-0102	
南部営農センター	和歌山市布引520-1	073-444-0390	
東部営農センター	和歌山市森小手穂130-1	073-488-3190	
農機センター	和歌山市栗栖660-1	073-471-1755	
グリーンステーション	和歌山市和佐中148	073-465-4100	
——《生活店舗》——			
ライスセンター	和歌山市栗栖642	073-471-7611	
JA-SS	和歌山市和佐関戸48-2	073-477-4774	
農産加工センター	和歌山市栗栖664	073-474-1311	
——《直売店舗（愛菜てまりっこ）》——			
かせい店	和歌山市榎原223-26	073-452-3883	
いさお店	和歌山市園部1449	073-462-4841	
しかごなかのしま店	和歌山市有本18-1	073-471-5211	
おかざき店	和歌山市寺内574	073-476-4001	
さいか店	和歌山市西浜1-1-1	073-444-1444	

7. 財務状況や事業に関する取り組み

記載した金額は表示単位で切り捨てです。

(1) 金融再生法開示債権 (単体)

(単位：百万円)

債権区分	令和2年9月末	令和2年3月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	196	181	15
危険債権	25	46	▲21
要管理債権	—	—	—
正常債権	64,411	63,382	1,029
合計	64,632	63,611	1,021

注1. 令和2年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

- ①各債権区分額は、令和2年9月末時点の債権額を基準としています。
- ②令和2年3月末から令和2年9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況にもとづき債権区分を変更しています。
2. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「正常債権」についての対象債権は信用事業と信託で、また「要管理債権」の対象債権は貸出金です。
3. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、自己査定における破綻先、実質破綻先のうち信用事業に係る総与信(貸出金、貸付有価証券、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金)で法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
4. 「危険債権」とは、自己査定における破綻懸念先のうち信用事業に係る総与信で、経営破綻の状況にはないが財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。
5. 「要管理債権」とは、自己査定における要管理先のうち3ヶ月以上延滞貸出金および貸出条件緩和貸出金です。
6. 「正常債権」とは、上記2～5以外の信用事業に係る総与信です。

(2) 単体自己資本比率

令和2年9月末(推計値)	令和2年3月末
13%程度	13.86%

注. 9月末の単体自己資本比率(推計値)は、令和2年3月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、9月末までの資本増減から推計した信用リスクアセット額を令和2年3月末の信用リスクアセット額に加減し算出しています。

(3) 信用事業における主要勘定の状況

(単位：百万円)

区分	令和2年9月末	令和2年3月末	令和元年9月末
貯金	356,552	351,525	351,242
貸出金	64,575	63,553	63,846
預金	288,587	283,215	283,817
有価証券	1,940	1,841	2,444

(4) 有価証券等時価情報

(有価証券)

(単位：百万円)

区分	令和2年9月末			令和2年3月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	1,439	1,465	26	1,841	1,884	42
その他	498	501	3	—	—	—
合計	1,937	1,966	29	1,841	1,884	42

注1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等にもとづく時価としています。

2. 取得価格は償却原価法適用後、減損処理前のものです。

Wakayama GingerAle

A sparkling beverage made with ginger from Wakayama City. Our ginger is grown on sunny farms with help from mother nature. Full of taste & refreshing

母なる川、紀ノ川の清流、
燦々と降り注ぐ太陽の光を
いっぱいに浴びて育ちました。



この商品は、JAわかやまと和歌山商工会議所との農工商連携で開発された商品です。



【紀州でまり野英】はJAわかやまの登録商標です。